

来月都内で県産品販売

中学生ノウハウ学ぶ

仙台で講座

仙台市内の中学生が起業や小売業について学ぶ体験プログラム「復興アントレプレナー」が19日、同市青葉区の仙台レインボーハウスで始まった。2回の講座を受け、中学生が収支計画を立て商品の仕入れなどにも挑戦。8月8日に東京都港区で開かれる青空市場「ヒルズマルシェ」に出店して県内産品を販売する。

学童保育や東日本大震災の被災地の子どもの支援に

取り組む「放課後NPOア
フタースクール」(東京)



会社の仕組みや小売業の基本を説明した講義

の主催で、1〜3年生約20人が参加した。

子どもたちは会社の仕組みや小売業の基本について教わった後、4班に分かれて各店の店名や目指すテーマなどを話し合った。

最初はためらっていたが次第に積極的になり、「笑顔でお客さんに満足を届けよう」「大きな声であいさつする」など意見を出した。

講師を務めたアフタースクールスタッフの押塚岳大さん(39)は「働くことの面白さを感じるとともに、チームでやり遂げる達成感を知ってほしい」と子どもたちにエールを送った。